

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 硝子体手術の術中レーザーと術後炎症に関する研究

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 伊藤正裕（眼科・医師）

[研究の概要]

■ 目的・方法

研究期間：2026年7月21日～2026年12月31日

目的：硝子体手術の術中レーザーと術後炎症の関連を評価する

方法：カルテからの情報収集をもとに実施する後方視的な観察研究

■ 対象となる患者さん

2024年1月1日から2025年12月31日の間に硝子体手術を受けた糖尿病網膜症の方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：臨床所見（年齢、性別、既往歴、透析の有無）

血液所見（肝腎機能、HbA1c）

検査所見（視力、眼圧、フレア値、網膜厚）

治療（術式、術眼、術中網膜光凝固数、白内障手術の併施の有無、眼内充填物、増殖膜処理操作の有無、手術時間）

治療反応性・予後（術後の視力、眼圧、フレア値、網膜厚、再手術の有無）等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

伊藤正裕 眼科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971